



平成21年度指定 高指第115号

島谷 桑一

【雅号】昇龍 しょうりゅう

生年／昭和22年 指定技術名／銅器・鍛金



けいす「さんだんあがり」

鑿子「三段上」

鑿子に“鳴りを出す”技術は、音階の調律のみならず、読経にあわせて鳴り響く余韻の中で「甲・乙・聞(かん・おつ・もん)」と変化していく音の波長による荘厳なうねりを生み出す技術である。「三段上」と呼ばれるこの鑿子は、細長い形状のためより勢いのある音が鳴る。真鍮板を成型する際、金鎚で叩いた鎚目は内側だけに施され、美しい煮色をまとった外側にはわずかに当金の目が見えるにとどめている。令和2年には、約100年ぶりに新調された鑿子を曹洞宗総本山永平寺に納めるなど、昇龍工房に代々受け継がれる技術は、唯一無二のものとして高い評価を得ている。

令和元年作

素材・技法／真鍮・鍛金

寸法／高さ27cm×幅34cm

〔表彰・受賞歴〕

- 平成16年 日本伝統工芸士会功労賞
- 平成22年 高岡市伝統工芸産業技術保持者指定
- 平成23年 伝統的工業品産業功労者表彰
(中部経済産業局長)
- 平成24年 富山県功労表彰
- 平成26年 伝統的工芸品産業功労者表彰
(経済産業大臣)
- 平成27年 卓越した技能者(現代の名工)表彰
- 平成29年 黄授褒章
- 令和元年 高岡市功労者表彰

〔経歴〕

- 昭和41年 父桑吉に師事し、鑿子鍛金技術を習得
- 平成7年 伝統工芸士認定
- 平成9年 手打鑿子組合会長
- 平成24年 高岡銅器伝統工芸士会会長
- 平成28年 富山県伝統工芸士会会長